

令和5年度を振り返って

ソフトボール専門部

京都府中体連及び関係各位、顧問や専門委員の先生方、会場をご提供いただきました学校関係の皆様方にご指導とご支援・ご協力をいただきまして、今年度の各大会、諸行事を無事にすべて終えることができました。厚く御礼を申し上げます。

今年度の京都府中学校総合体育大会は口丹波ブロック中体連が主管となり、7月29日と30日の両日に丹波自然公園球技場において9校でトーナメント戦を行いました。ベスト4には勧修中（京都市）・東城陽中（山城）・洛南中（京都市）・木津南中（山城）が勝ち上がりました。準決勝では、勧修中が東城陽中を6-0で、木津南中が洛南中を9-4で破りました。決勝戦は木津南中が勧修中を7-5で下し、優勝を決めました。また、今年度は京都府の近畿大会出場枠が3校であったため、第3代表決定戦を行いました。東城陽中が洛南中を11-3で破り、近畿大会出場を果たしました。

近畿大会は、和歌山県開催でした。16チームが参加した近畿大会は、8月5日～6日に粉河運動場で2日間熱い戦いが繰り広げられました。木津南中は、1回戦で滋賀県代表の老上中を10-0で破り、2回戦で奈良県代表の広陵中を4-1で破りました。そして、初めての全国大会出場を果たしました。準決勝は、全国大会優勝を果たした大阪府代表の岸城中に0-10で敗れましたが、第3位という立派な成績を収めました。勧修中は1回戦で奈良県代表の香芝北中に3-6で敗れ、東城陽中は1回戦で兵庫県代表の浜の宮中に0-10で敗れました。敗れたチームを含めて、京都府代表のチームは多くの人々に感動を与える試合を行ってくれました。

全国大会は、香川県開催でした。28チームが参加した全国大会は、8月19日～21日に土器川公園で行われました。近畿ブロック代表の京都府の木津南中学校は、北海道代表の札幌市立栄中学校に4-6と惜敗しました。地元から応援に来てくれた保護者、地域の方々、また京都府の専門委員の温かい声援を受けて、選手たちは真剣に戦い抜きました。

冬季には競技力向上対策本部事業として強化事業を行いました。毎年行われている京都府競技力向上講習会を12月2日に洛南中学校で開き、26チーム254名の選手が参加しました。参加選手には園田学園女子大学ソフトボール部の監督、コーチ、選手の皆さんに基礎練習から実践練習までを指導してもらい、選手たちは多くのことを学びました。

今年度で8回目となった北部と南部の競技力を向上させることを目的にした、「KYOTO WINTER CUP」を12月10日に亀岡市にある詳徳中学校・大成中学校で行いました。京都府全域から16チームが集まり練習試合を行いました（1会場がインフルエンザ流行のため使用できず、例年より参加数を減りました）。

1月6日、7日にSGホールディングス守山グラウンドでSGホールディングスソフトボールチームの協力の下、京都府交流大会が行われました。京都府全域から18校のべ224名の選手が参加し、どのチームも熱心に取り組んでいました。

本年度もソフトボールを通じて成長していく生徒を少しでも多く育てるために講習会や交流大会を行いました。また、アスリートの育成とソフトボールのすそ野を拡げるためにも今後も活動していきたいと思えます。中体連や関係諸団体の皆様には様々なご支援やご協力をいただきました。来年度もソフトボールを愛する生徒を育てるべく活動していきたいと思えます。ありがとうございました。

